

[た よ り]

## 宮崎県支部だより

中山 健

### 1 支部の概況

宮崎県は九州の南東部にあり、黒潮流れる日向灘に面している。そのため気候は年間を通して温暖で、春はプロ野球のキャンプ、秋はプロゴルフのトーナメントなどが開催され、県内外の観客で賑わう。

平成 16 年 12 月 31 日時点の調査で当県の総人口は 1,160,531 名であるが、二次医療圏別の透析施設数は宮崎東諸県 22, 都城北諸県 9, 宮崎県北部 7, 日南串間 6, 西諸 5, 西都児湯 5, 日向入郷 6 の計 60 で、透析装置は総数 1,460 台、透析患者数は 3,131 名を数える。これらを 1 年前と比較すると透析施設数 3, 透析装置 66 台、透析患者数 134 名の増加となっている。日本透析医会の会員が所属する施設数は 21 で全体の 35% であり、今後の新規加入の増加が望まれる。

県内での透析医療に関する活動は、ほぼ全施設が加入している宮崎県人工透析研究会のもとで、日本透析医会宮崎県支部の活動もかねて春に総会、夏に学術大会が行われている。そのほか臨時の集会もある。平成 17 年度の役員を表 1 に示した。

表 1 役員名簿（宮崎県透析研究会）

会 長	中山 健
幹 事	藤元昭一, 山本良高, 中村恒雄, 横山 巖, 養田国広 (会計), 山下政紀, 脇坂 治, 海老原和正, 久永修一
	(順不同)
監 事	王丸鴻一
顧 問	江藤胤尚, 長田幸夫

### 2 C 型肝炎院内感染の発生

すでにマスコミ等で報じられたが、当県宮崎市の某透析施設で C 型肝炎の院内感染が発生した。当該施設から当方へ連絡が入ったのが 2 月 5 日で、8 日には宮崎市保健所が公表し、このことは、同日宮崎県医師会から県下の全医療施設に FAX ニュースとして伝えられた。9 日から地方紙を中心にマスコミで報道され、同日付けで宮崎県福祉保健部長より各透析医療機関管理者宛に透析医療機関における院内感染対策の徹底について、また、宮崎県医師会も同日透析医療実施の医療機関の長宛に透析医療における院内感染予防について緊急の連絡が行われ、両者から『透析医療における標準的な透析操作と院内予防に関するマニュアル』（改訂版第 2 刷）が送付された。また、周知のごとく 10 日付で日本透析医会から支部長各位宛に「宮崎県下の透析施設にて C 型肝炎院内感染が発生した」との内容と共に院内感染の防止について通知が出され、当方にも届いた。

私達は 12 日に総会を開催したが、未だ事態が流動的であったので推移を慎重に見守ることとし、宮崎市保健所が設置した「宮崎市 C 型肝炎ウイルス集団感染調査」の委員として宮崎大学医学部第一内科助教授の藤元昭一先生を当研究会から推薦した。

17 日に宮崎市の透析施設による緊急集会を行い、先方からの申し出に従い当該施設院長から事情を聴取し、各施設の感染予防対策について討議した。その後、当方からの依頼もあって宮崎県医師会に「宮崎市内の

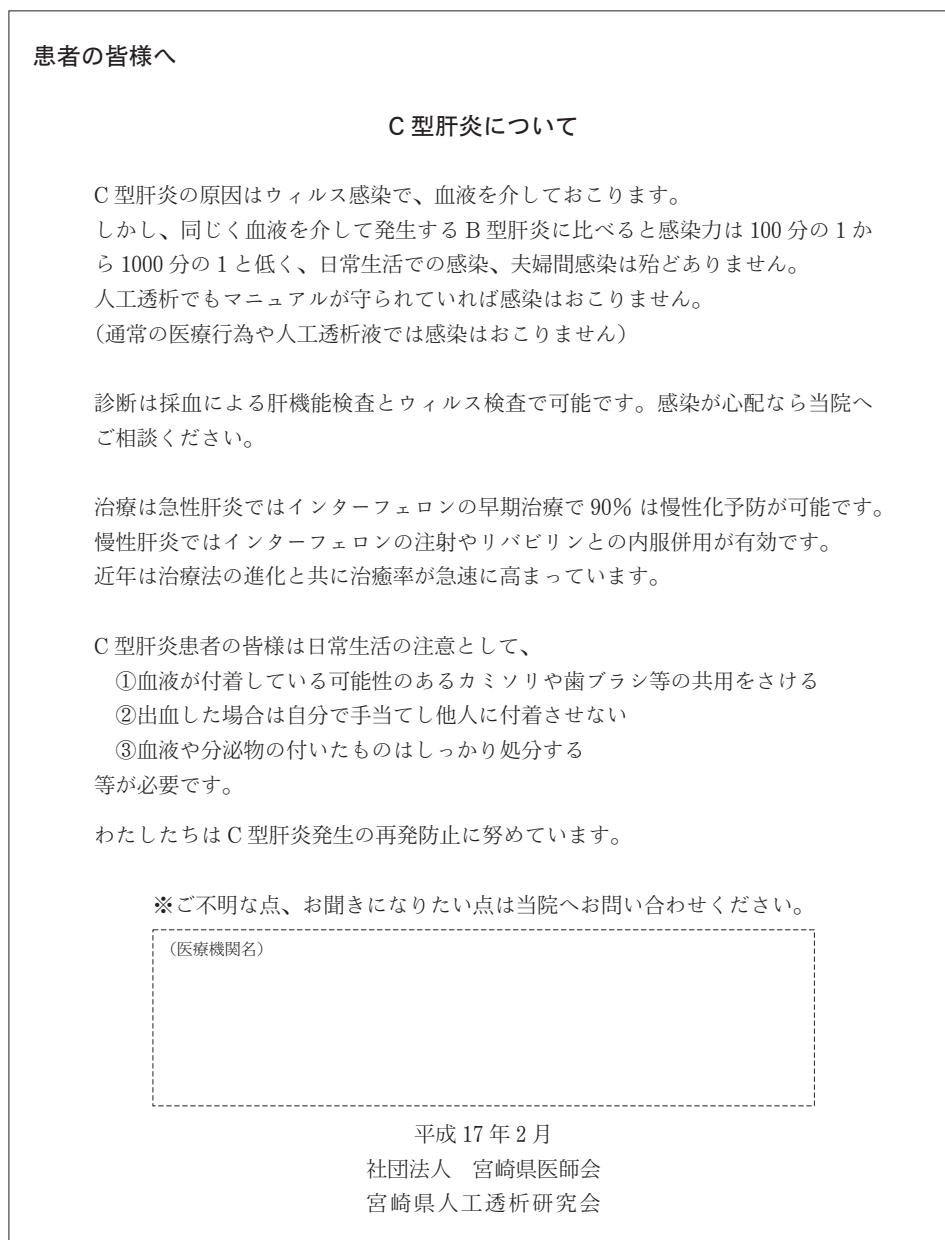


図1 リーフレット

医療機関におけるC型肝炎ウィルスの集団感染対策協議会」が設置された。筆者も委員として加わり、22日の会合で県民（患者、家族）に対するC型肝炎ウィルス関連広報ポスターとリーフレットの作成を決定した。これは3月2日優先的に透析医療実施の医療機関の長宛に届けられ、その後県下の全医療施設に送付された（図1, 2）。日本透析医学会は15日に透析医療機関における感染防止対策の徹底についてお知らせを出した。なお、25日に上述の「宮崎市C型肝炎ウィルス集団感染調査委員会」の初会合が宮崎市保健所で開かれた。

その時点で判明した事実は、当該施設では透析は3

シフトで行われていたが、その内の1シフトに属する14名中13名に肝機能の異常がみられ、その後C型肝炎ウィルス陽性を認めたというものである。その後、4月25日に2回目の「宮崎市C型肝炎ウィルス集団感染調査委員会」が開かれ、キャリアーに使用した注射針で共用のヘパリンを吸引したため、ヘパリンが汚染された可能性が大きいと発表した。すなわち、注射か採血に使用された針が誤用された疑いがあるというものである。同委員会は7月中旬に3回目を開き、再発防止策を検討することになっている。なお、宮崎市保健所は6月上旬まで、市内の全透析医療機関を対象に立ち入り検査を実施している。

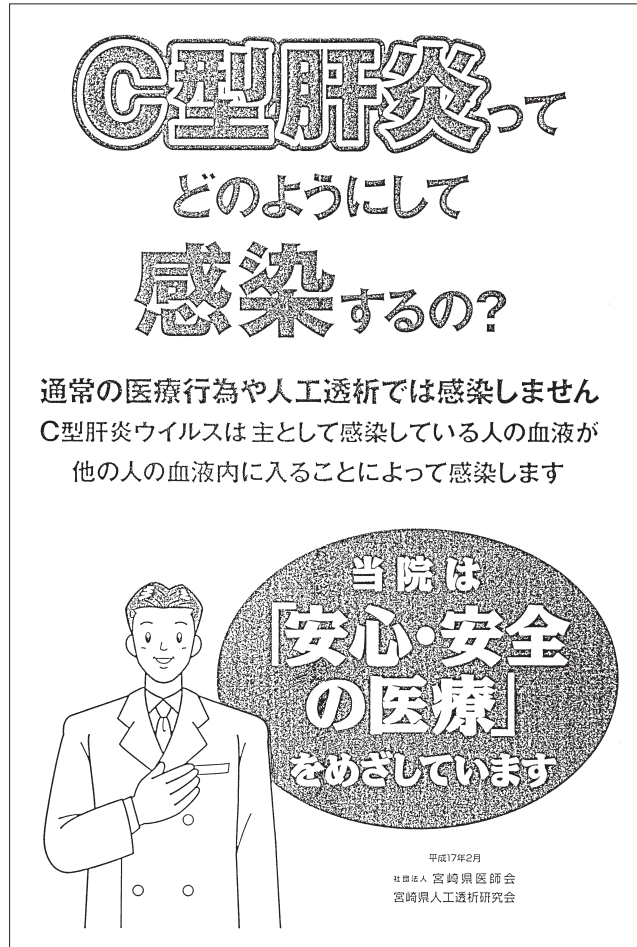


図2 広報ポスター

当方からは3月2日に県下の全透析施設に対して院内感染防止、特に薬剤の共用のリスクに関して緊急通達を送った。なお、5月14日に県外から講師を招請し、第1回宮崎透析療法安全管理セミナー「透析室の感染症対策」を宮崎市で開催した。さらに、7月9日の定例の学術集会でも同じ主題のセッションを設ける

予定である。

### 3 おわりに

事務局より支部だよりを書くよう御下命があり、院内感染発症の最中であつたが、皆様への御報告をかねて述べさせていただいた。